

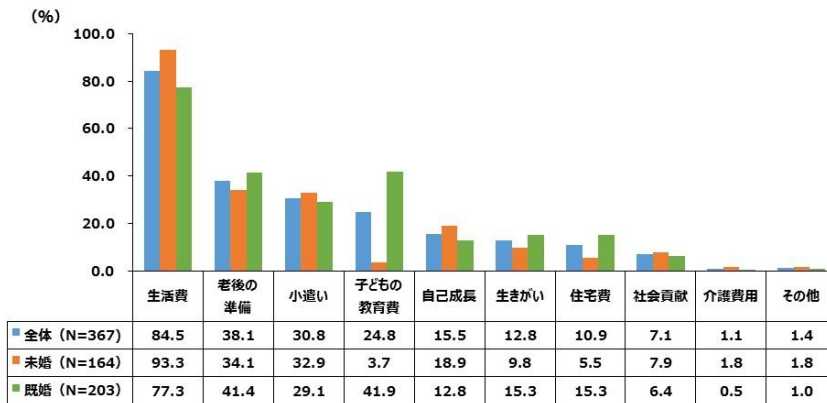
2019年働く女性に関するアンケート調査結果

2019.9.26 愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】 愛媛県内に勤務する女性 882人	【有効回答率】 41.6% (367人)
【調査時期】 2019年8月上旬	【調査方法】 愛媛県内支店にてお客様に配布、郵送返却
———回答者の構成———	
【平均年齢】 40.2歳	【勤続年数】 10年5ヵ月
【未既婚別】 未婚 44.7% 既婚 55.0% 無回答 0.3%	【平均年収】 276万3,000円
【就業形態】 正社員 69.5% 非正社員 30.2% 無回答 0.3%	
【職種】 会社員 80.1% (うち事務系 67.0% 営業・販売 24.5% 製造・技術 3.1% 無回答 5.4%)	
公務員 7.4% その他 7.1% 無回答 5.4%	

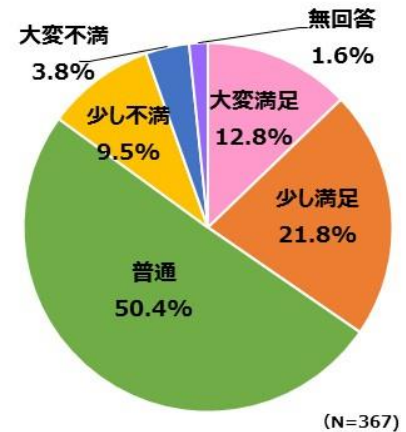
1. 働き方について

(1) 仕事の目的 (複数回答)



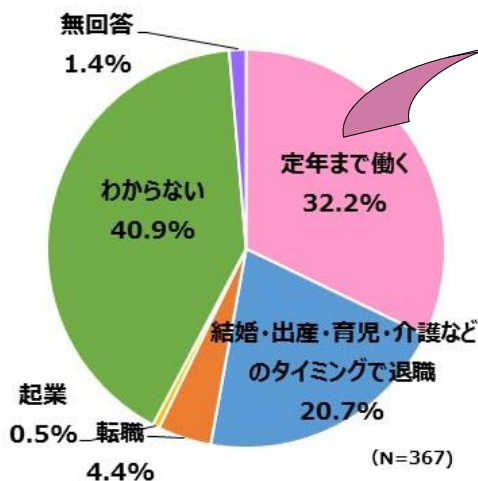
全体では、「生活費」が最も多く8割以上。「老後の準備」が前回調査(2018年)より6.0ポイント増加し、第3位から第2位に。未婚は「小遣い」、既婚では「子どもの教育費」や「老後の準備」が多くみられた。

(2) 現在の仕事(職場)に対する満足度

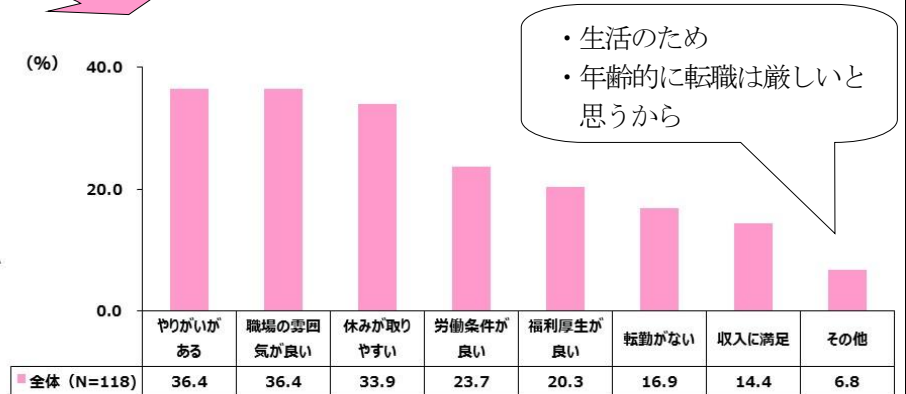


不満(「少し不満」+「大変不満」)は約1割程度(13.3%)と、大きな不満を抱えながら仕事をしている人は少ない。

(3) 今後も現在の仕事を続けていく意思



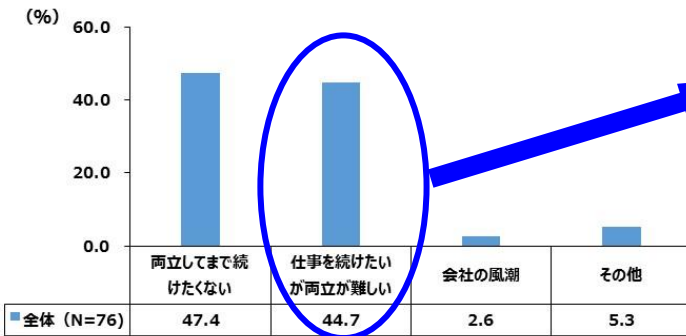
(4) 定年まで現在の職場で働きたい理由 (複数回答)



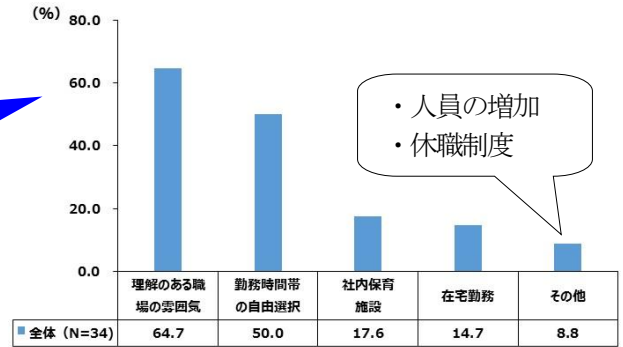
・今後も現在の仕事を続けていく意思があるかどうか「分からない」が最も多く40.9%。「定年まで働く」(前回比+0.4ポイント)は、2017年の調査から増加傾向にある。

・「定年まで働く」と回答した人で、現在の職場で働きたい理由として多かったのが「やりがいがある」と「職場の雰囲気が良い」、「休みが取りやすい」、がそれぞれ3割以上を占めている。
・「職場の雰囲気が良い」(前回比+10.4ポイント)は、前回第4位から第2位へ。
⇒仕事を長く続けていくためには、精神面と職場環境等のバランスが取れていることが重要となってくる。

(5) ((3)で「結婚・出産・育児・介護などのタイミングで退職」と回答した人のみ) 退職する理由 (複数回答)



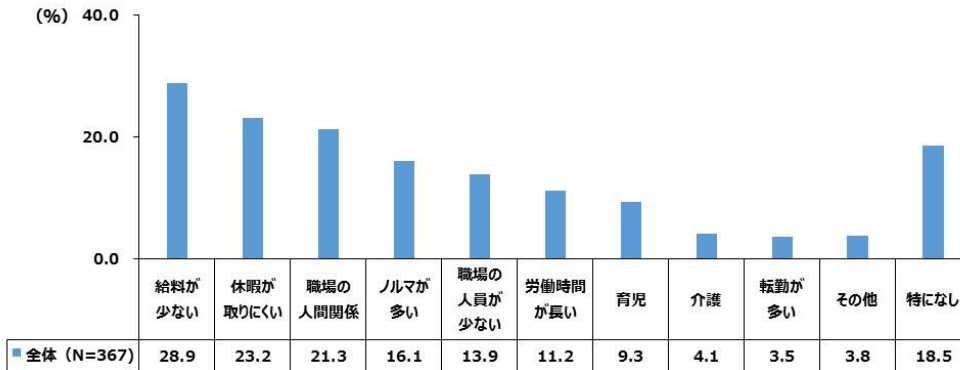
(6) ((5)で「仕事を続けたいが両立が難しい」と回答した人のみ) どのような環境があれば仕事を続けることができると思うか



・人員の増加
・休職制度

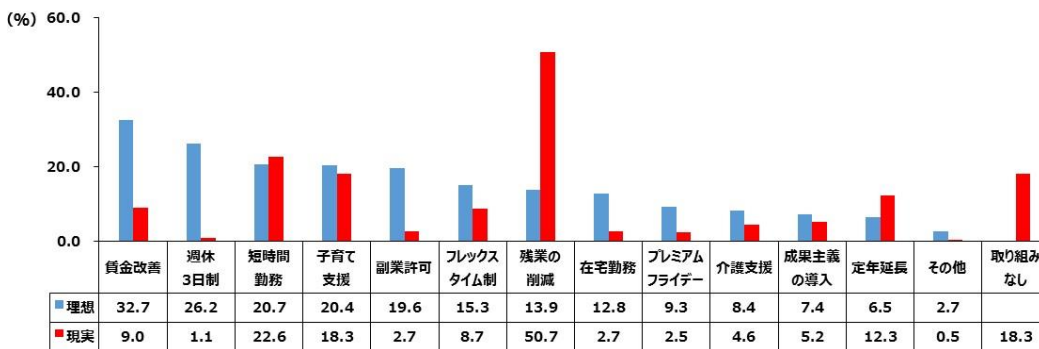
- ・退職する理由としては「両立してまで続けたくない」が最も多く、47.4% (前回比+11.6 ポイント)。「仕事を続けたいが両立が難しい」は前回より 12.1 ポイント減少。
- ・両立が難しいと考えている人の中で、「理解のある職場雰囲気」と「勤務時間帯の自由選択」があれば仕事を続けていくことができると考えている人が多い。
⇒女性が長く仕事を続けていくには、職場環境の整備と働き方の多様性が求められる。

(7) 仕事を続けていく上での悩み (複数回答)



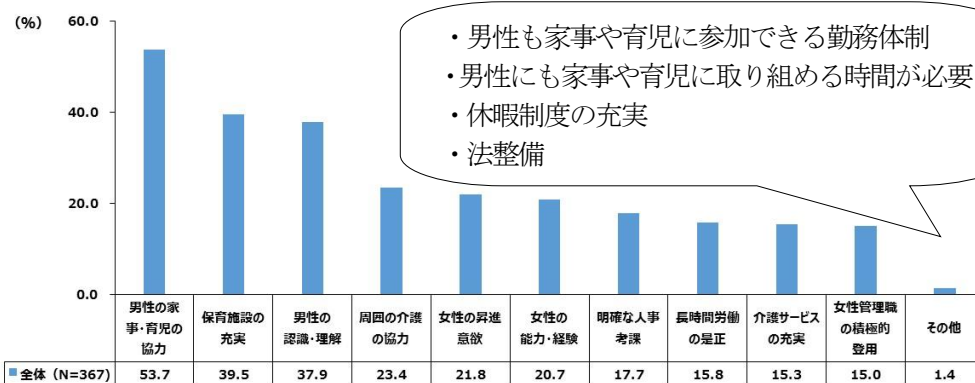
悩みの上位3項目は「給料が少ない」、「休暇が取りにくい」「職場の人間関係」で、順位は、前回と変わらず。仕事のモチベーションには給料や休暇、職場環境などが関わってくるのが伺える。

(8) 職場にあったらいいと思う制度・働き方と職場で実際に取り組みされている制度・働き方 (複数回答)



理想としては「賃金改善」や「週休3日制」を望んでいる人が多く、現実としては「残業の削減」の実施が多い。職場に求めていることと職場の現状とのギャップが伺える。

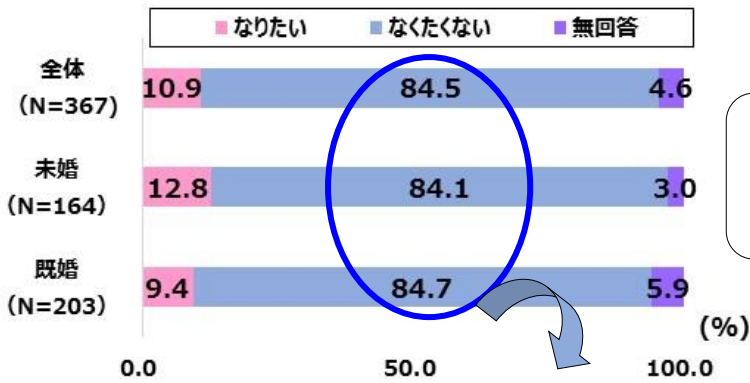
(9) 「女性活躍」を進めるために必要だと思うこと (複数回答)



- ・男性も家事や育児に参加できる勤務体制
- ・男性にも家事や育児に取り組める時間が必要
- ・休暇制度の充実
- ・法整備

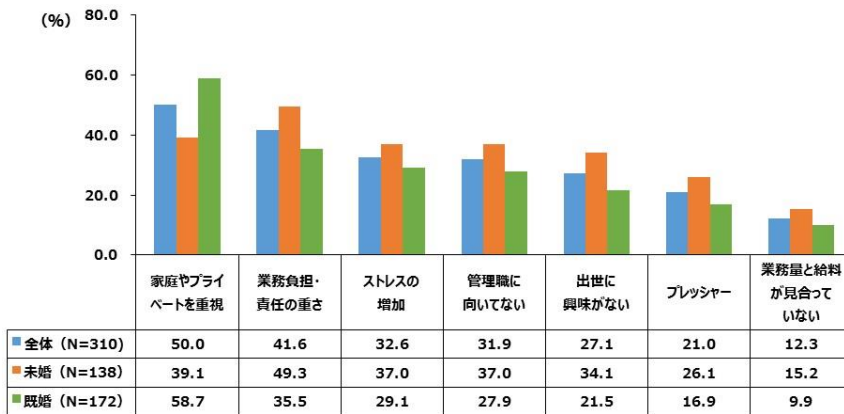
「男性の家事・育児の協力」が最も多く半数以上。「男性の認識・理解」も4割近くを占め、女性活躍のためには男性のサポートが必要と感じている人が多い。

(10) 管理職になりたいと思うか



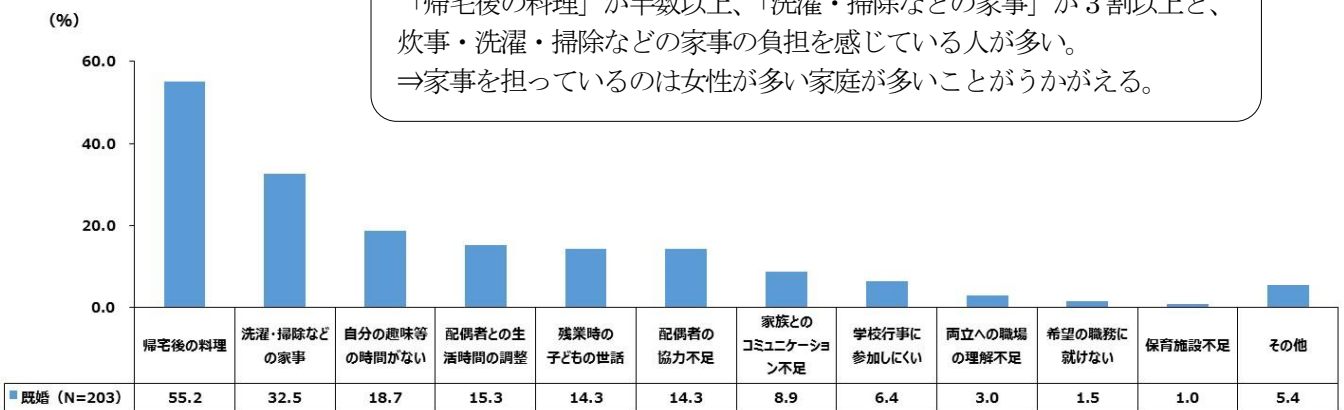
管理職に「なりたくない」と思っている人の方が多く、未既婚共に8割以上を占めている。「なりたい」と思っている人は約1割程度。

(11) ((10) 管理職に「なりたくない」と回答した人のみ) 管理職になりたくない理由 (複数回答)



管理職に「なりたくない」理由は、全体では「家庭やプライベートを重視」が半数以上、次いで「業務負担・責任の重さ」が約4割、「ストレスの増加」が約3割を占める。未婚者では「管理職に向いてない」、「出世に興味がない」、「プレッシャー」など意識的な理由も多い。→女性管理職を増やすためには、働く環境だけではなく、女性の意識改革も重要となってくる。

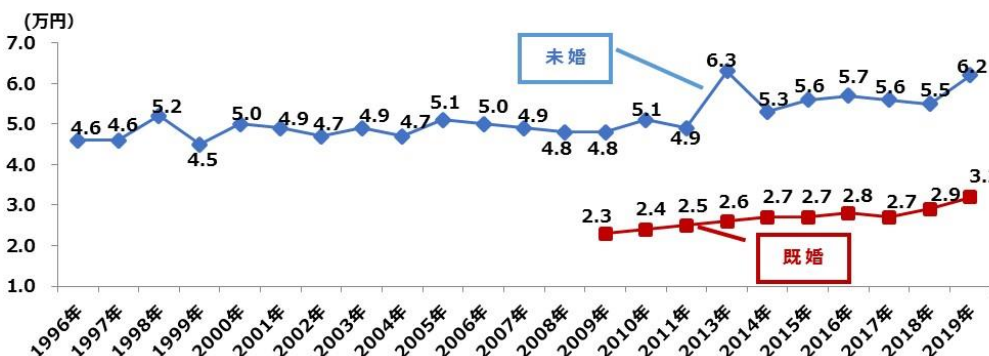
(12) 【新設項目】(既婚者のみ) 仕事と家庭の両方で困っていること (複数回答)



「帰宅後の料理」が半数以上、「洗濯・掃除などの家事」が3割以上と、炊事・洗濯・掃除などの家事の負担を感じている人が多い。⇒家事を担っているのは女性が多い家庭が多いことがうかがえる。

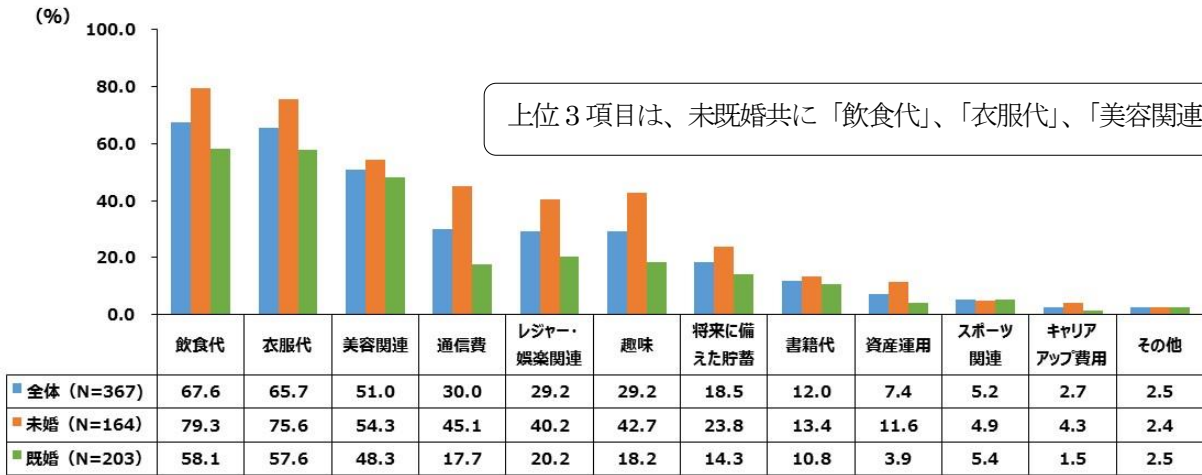
2. マネー感覚について

(1) 月々の小遣い



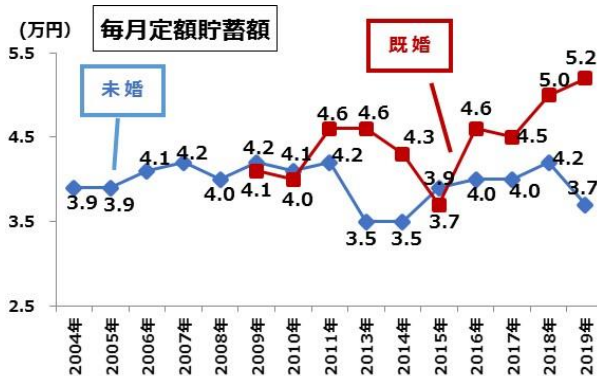
未婚は前回より小遣いが7,000円増加。既婚は前回より3,000円増加。

(2) 小遣いの使い道 (複数回答)

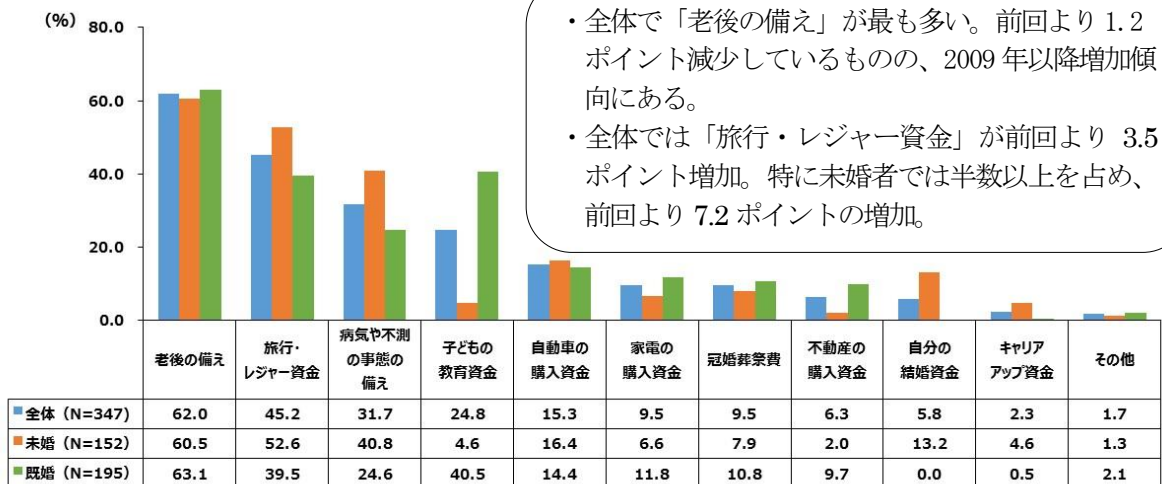


(3) 貯蓄のタイプ

	全体	未婚	既婚
①毎月定額を貯蓄	36.2%	31.7%	39.9%
②毎月定額かつボーナス月には増額	19.1%	20.7%	17.7%
③ボーナス月のみ貯蓄	1.9%	1.2%	2.5%
④定額ではなく余った分を貯蓄	28.3%	30.5%	26.6%
⑤貯蓄していない	5.4%	7.3%	3.9%



(4) 貯蓄の目的



【まとめ】

- 女性が仕事を長く続けるためには、「やりがい」などの精神面だけでなく、「給料」や「休暇」、「職場の雰囲気」などの職場環境等のバランスが重要。また、「勤務時間の自由選択」や「在宅勤務」、「副業許可」など、働き方の多様性も求められている。
- 男性も家事・育児ができる時間の余裕（柔軟な勤務体制や休暇など）と、家事を行うのは女性という男性の意識改革も必要。
- 依然として、老後への関心は高い。将来に対する備えへの意識が高く、堅実な人がまだまだ多い。